

平成28年度 第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成29年3月29日（水）午後2時～4時

2 場 所 小中台公民館（講堂）

3 出席者 稲毛区公民館運営審議会委員（14名）

青柳 典子委員、野與 昭委員、周東 ひさ子委員、藤川 勇委員、
森脇 清委員、前島 正明委員、土屋 敏夫委員、城 久委員、種池
賀子委員、井上 美穂子委員、溜 昭代委員、菊池 まり委員、依田
桂子委員、渡邊 博典委員

（事務局10名）

小中台公民館 大平館長、菊地副館長

黒砂公民館 小口館長、轟公民館 倉原館長、稲毛公民館 末永館長、
千草台公民館 鈴木館長、草野公民館 小川館長、山王公民館 永井
館長、都賀公民館 山本館長、緑が丘公民館 安河内館長

4 会議次第

(1) 開 会

(2) 委員長あいさつ

(3) 副委員長あいさつ

(4) 小中台公民館長あいさつ

(5) 議 題

① 平成28年度公民館利用状況について

② 平成28年度公民館事業報告について

③ 平成29年度公民館事業計画について

④ その他

(6) 閉 会

5 議事の概要

① 平成28年度公民館利用状況について

稲毛区公民館の利用状況を事務局から説明した

② 平成28年度公民館事業報告について

稲毛区公民館の事業報告を事務局から説明した

③ 平成29年度公民館事業計画について

稲毛区公民館の事業計画を事務局から説明した

6 会議の経過

菊地副館長　それでは、これより平成28年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会を開会させていただきます。本審議会は、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開し、傍聴を認めております。また、議事録につきましては、公開することとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、進めさせていただきます。

初めに委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。青柳委員長よりよろしくお願いいたします。

青柳委員長　（あいさつ）

菊地副館長　ありがとうございました。
次に城副委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。

城副委員長　（あいさつ）

菊地副館長　ありがとうございました。
続きまして、小中台公民館館長の大平より、ごあいさつ申し上げます。

大平館長　（あいさつ）

菊地副館長　それでは、このあとの議事につきまして、青柳委員長よりよろしくお願いいたします。

青柳委員長　本日、委員14人のうち14人全員のご出席がありますので、規定により、会議は成立しております。

次に議事録署名人の選出ですが、私から指名してよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、周東委員さん、前島委員さんのお二人にお願いいたします。

青柳委員長　それでは、「議題① 平成28年度公民館利用状況について」事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

青柳委員長 ありがとうございます。只今、平成28年度の稲毛区公民館の利用状況について説明がありましたが、何か、ご質問、ご意見等、ありますでしょうか。

特に無いようでしたら、次に進めさせていただきます。

それでは、「議題② 平成28年度各公民館事業報告について」事務局より、説明をお願いします。

(事務局説明)

青柳委員長 ありがとうございます。各館で盛りだくさんで、多彩な事業を展開されているようですけれども、何か事業に関してご質問等ありますでしょうか。前島委員、どうぞお願いします。

前島委員 今のご報告の中で私が関心を持っているのは、文化祭のことです。隔年でやっている公民館と毎年やっている公民館があるようですけれども、どんな状況になっているか。困っているものはないか。展示と発表会とがあると思うんですけれども、展示関係で、作品を展示するボードの用意はどうでしょうか。各公民館、ボードが足りているのか、それとも足りていないのか。草野公民館では、ボードが足りないということ、展示スペースが足りないということ。他の公民館はどうでしょうか。状況を教えて欲しいのですが。

青柳委員長 文化祭の時の展示するボードが足りていない、困っているところはありますかというお話ですよ。

前島委員 そうです。

菊地副館長 小中台公民館ですけれども、当館は、中核公民館として位置づけられておまして、パネルが約25枚あります。前島委員のおっしゃるとおり、文化祭での作品展示であるとか、また、社協まつり、稲毛図書館での作品展示等に当館のパネルを貸し出したりもしております。私どもの周知が充分でなかったことにつきましては、誠に申し訳なく思っております。草野公民館さんへのパネルの貸出は可能ですので、今後はお申し付けください。それと展示スペースの件でございますが、確かに委員さ

んのおっしゃるとおり、各館によって建物の事情が異なりますので、小中台公民館を例にとりますと、展示スペースが無いので、1階のロビー（通路）にパネルを設置して、作品を展示している状況でございます。以上でございます。

青柳委員長 よろしいでしょうか。お貸しできるということで。

前島委員 小中台公民館の状況を伺って状況がわかりました。草野公民館では、文化祭の日程が他の公民館と重なることがあります。そうすると、草野で保有しているボードが現在20枚あるのですが、それだけでは足りないもので、今年度は、山王公民館さんから20枚お借りして間に合った次第です。けれども、まず、ボードを借りに行くエネルギー、人の手間、文化祭終了後の返却等、非常にリスクが大きいです。公民館が設置された当初は、生涯学習振興課が用意したんですかね。ボード調達の経緯はどうなんですかね。

菊地副館長 ボードについては、千葉市が購入した備品となります。

前島委員 生涯学習振興課のボードをお借りすることは可能ですか。

菊地副館長 生涯学習振興課としては、ボードを持っていないと思います。また、先程、委員さんがおっしゃった文化祭の日程が重なったというお話ですが、私の記憶ですと、それほど日程が重なった記憶がありませんね。いずれにしても、不足する公民館があれば各公民館からパネルを提供することは可能ですので、その際は、お申し付けください。よろしくお願いたします。

前島委員 ありがとうございます。

青柳委員長 ほかにございますか。

野與委員 緑が丘公民館にお聞きしたいんですけど、先程、館長さんからもお話されていますように、昨年度から地域の運営委員会を立ち上げて、事業の企画と運営を職員とともにやっているとのことですが、このような取り組みは、これからの公民館のあり方のひとつであると思うのですが、1年間の実践を通してどのような感想をお持ちでしょうか。

安河内館長 地域運営委員会のメンバーの方たちが、月に1回、定例会を持たれま

して、事業の成功をとということで、進めていらっしやいました。また、予算につきましては、次年度、もう少し考えていかななくてはいけないと思っております。

青柳委員長 只今のお答えでよろしいですか。

野與委員 はい。

青柳委員長 そのほか何かございますか。

菊池委員 私も緑が丘公民館に伺いたいのですが、公民館の主催事業では、いろいろな課題を取り扱うと思うのですが、地域運営委員会としての地域課題、課題の範囲を分けているのですか。そのあたりを教えてくださいなのですが。

安河内館長 例えば、相続税であるとか、スマートフォンであるとか、マイナンバーであるとかということで、日ごろの暮らしの中でというようなところにテーマを置いてとか、歴史散歩については、長沼、長沼原、宮野木に長く住んでいるけれども、地域のことについてどうなんだろうかと、また、子どもたちに語り継がなければならないことがあるのではないかと、長沼散歩をやってみたところ、これが大変好評でございまして、定員をはるかに超えまして、有意義な時間を過ごせたという、この4講座につきましては、館長として地域運営員会に大変感謝しております。以上です。

菊池委員 地域との連携ということで、こういう企画等で地域と連携するということは、たくさんあると思うんですけども、他の方法でも、例えば、運営懇談会で出た意見を企画へ取り入れたこともあって。とてもいいなあと思うんですが、それ以外でも、地域の課題なり、主催事業を取り組むときに、地域に出向くなど、どんなふうに公民館が工夫してらっしやるのか、わかるところで教えてくださいと思います。

種池委員 今、安河内館長が言った通りでございまして、私は、41連協の会長をやっております、28町内会に関わっているわけでございますけれども、皆さんは、今、あまり回覧板を読まないんですね。地域で、うちの地域で、何をやって行ったらいいのか。皆さん不安を持っているものはないのだろうか、どういうふうにしたらいいのか、風を読む、地域の風を読むというものを私は一番大事にするんですね。それがわかるんですね。永年やっていますと。その風が。月に1回、委員会を6人くらいで

持ちまして、館長とも連絡を取りながら、今回これでやってみようか、今、どうもここらへんが皆さん不安が多いよね、という形で。来られる方は、常にボランティアや自治会にあまり関わっていない方々がいらっしやるんですね。こういう方たちにも隅々までいろんなことを情報を私たちが持っている限り、お教えしなければいけないんだという役目もあるんじゃないかということで、主催事業を講師と館長と協賛でやっているわけですが、私は、これで留まっているのはおかしいと思っております。もっと、もう少し進んだ、早く言えば、市民センターの小型のような形、そこに来れば何でも相談に乗ってくれるような、そういう方達の区役所にも行かれない、市役所まで行かれない方達が、ご相談が来ればなるたけお話し相手になってあげられるような、主催事業は主催事業できちっとやっていかなければなりませんし、私は、その他、高齢者が増えていきますから、いろいろな問題が出てくると思いますが、これについては、館長がおっしゃったとおり、財産問題ですね、公証役場どこにあるんでしょうかということも教えて差し上げなければいけない。その方は、すぐに行かれたそうでございます。だから、細かいことのようにすけれども、そういう細かいところを私達は、情報が届かない方達まで、地域運営としてそういう方達に集まっていただいて企画をしていきたいなと思っております。以上です。

青柳委員長 菊池委員、よろしいですか。

菊池委員 他の公民館で、工夫がありましたら教えてください。

菊池副館長 各公民館では、来年度の事業計画を考えるにあたって、いくつかのジャンルに分けて検討しています。家庭教育関係であるとか、高齢者向けの事業であるとか、その中の一つとして、現代的課題もテーマのひとつとして考えておりました、各館において、テーマに即した形で事業を進めている状況でございます。

青柳委員長 ありがとうございます。他にありますか。井上委員、何かありますか。

井上委員 轟公民館さんと山王公民館さんの事業についてお伺いしたいのですが、轟公民館さんでは、夏休みを対象に集中的に7つもの講座をされているわけですが、その中で「そば打ち体験」は、結構、力があると思うのですが、小学生でも可能なのか、それとも「轟そばの会」の方が手伝っていらっしやるのか、それと「足踏み版画」はどういうものかの2点です。

それと山王公民館さんの事業の中で、夏休みこども教室「防災1泊キャンプ」というものがあるのですが、どのような形態でやっているのか、伺わせていただければと思います。

倉原館長 轟公民館です。夏休み体験講座の開催時期につきましては、苦勞していきまして、早くても遅くてもだめで、また、夏休みには家族旅行も入ってしまうので、7月の夏休みが入ってから8月の中旬までの短期間で開催しています。講師は、基本的には、轟公民館で活動しているサークルの方々に講師をお願いしています。これは、先程、菊地副館長から話がありましたけれども、生涯学習のひとつの目的のなかに、リーダーの育成というのがありまして、場の提供からはじまり、リーダーの育成をしながら、その学習成果を地域に還元していくという考え方です。ご質問の「そば打ち体験」ですが、親子でやっています。ですから、お父さんやお母さんが手伝いながらやっています。それから、「足踏み版画」につきましては、千葉大でやっている講座がありまして、その中で講師の方が千葉県のアカデミーで、その方をお願いしています。実際は、2メートル四方ぐらいの広さに版画的に紙や布とかで模様を作って、塗装し、足で踏んで形作っていくものです。風変りなやり方で、子ども達にも楽しんでもらっています。

井上委員 子ども達は、結構、自由にできるんですね。

倉原館長 はい。

永井館長 防災キャンプの指導体制ということで、よろしいでしょうか。

井上委員 はい。

永井館長 指導者は、千葉市キャンプ協会の方で昨年は4人、キャンプ協会からの紹介で、将来、教員を目指している大学生が2人、それから館長の私で計7人の指導者となります。夜については、大学生と私で指導しました。今年は、特に事故はありませんでしたが、夜のキャンプでは、とても楽しく、子ども達のテンションが上がっていましたので、指導には苦勞しました。以上です。

井上委員 子ども達には、良い体験だと思うのですが、ご苦勞も多いことがよくわかりました。ありがとうございました。

前島委員 キャンプで、仮に事故が起きた場合の保険なんかはどうですか。

永井館長 公民館の活動なので、公民館の保険が適用されます。

前島委員 わかりました。ありがとうございます。

青柳委員長 そのほか何かございますか。無いようでしたら、次に進みます。
それでは、「議題③ 平成29年度各公民館事業計画について」事務局より、説明をお願いします。

(事務局説明)

青柳委員長 ありがとうございます。各館、盛りだくさんで工夫された事業を計画されているようですけれども、皆さん、何かご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

溜委員 緑が丘公民館に運営委員会というのがありますが、この運営委員会が主催事業を開催するのは緑が丘公民館だけですよ。

安河内館長 申し訳ございません。主催ではなく公民館との共催でございます。

溜委員 共催といっても、運営委員会が公民館に入って開催する形ですよ。他の公民館にもあるんですかね。無いのですね。地域の方に公民館の事業の企画をさせることは、新しい風を入れるということで、とてもよいことだと思いました。それから、公民館によって事業の数が違うのですけれども、主催事業の事業数が館長の評定に影響するのでしょうか。

菊地副館長 只今のご質問ですが、主催事業の数によって館長の評定に影響するという事はございません。また、各館によって事業数が異なるのはどうしてかというご質問ですが、今回、このような事業単位での資料のまとめかたをしてございますが、例えば、黒砂公民館の「夢の箱」は、1年間のロングランの事業であるとか、小中台公民館の「2・3歳児親子で遊ぼう教室」は、複数回での開催で1事業として掲載しております。したがって、一概に事業数だけで比較できないものと考えております。あとは、地域の実情であるとか、各館の考え方により、事業数での若干の差異はあります。以上でございます。

溜委員 よくわかりました。

青柳委員長 よろしいですか。

溜委員 はい。ところで、かつて稲毛区の公民館の館長さんたちが企画して、小中台公民館で主催事業をしたことがあります。地域運営委員会がそのような試みなのかと思いましたが。今後も新しい事業を企画して下さることを期待します。

青柳委員長 ありがとうございます。前島委員どうぞ。

前島委員 今、溜委員のご意見を伺っていて、前回だったか、私が発言したと思いますが、事業の数だけで評価するのは、大反対です。そうあってはいけないと思うんです。よろしくをお願いします。

青柳委員長 ありがとうございます。その他、何かございますか。

種池委員 この会議で皆さんの貴重なご意見を聞き、私も勉強して帰りたいと思います。皆さんも、どうぞたくさん意見を述べて頂きますようよろしくお願いします。

青柳委員長 ありがとうございます。

溜委員 私は、轟公民館を月に何回か使わせてもらっています。また、小中台公民館も使わせて頂いています。すごくきれいですね。しかしながら、稲浜公民館も使わせて頂いておりますが、昔のあすなろ館でしたか、古い建物で、つぎはぎだらけで。その中でも、利用しやすいように工夫されていらっしゃるようで、とても感心しております。これは利用者としての感想です。ありがとうございます。

青柳委員長 ご意見ありがとうございます。その他、何かございますか。

森脇委員 千草台公民館は、だいぶ老朽化しており、テーブルの脚が剥がれたり、床のパネルが剥がれたり、図書室のカーテンの色が滲んだりしています。こういうのはどうしたらよろしいのでしょうか。職員の方もだいぶ苦勞されているようです。よろしくお願いします。

菊地副館長 千草台公民館の建物及び設備の老朽化についてのご意見についてですが、私も現地に参りまして、現状を把握し、必要な修繕をさせていただいております。稲毛区には公民館が9館ありますので、緊急性、安全性

などを考慮し、優先順位をつけて修繕をしていきますので、どうぞ職員へご意見等をお申し付けくださるようお願いいたします。

鈴木館長 千草台公民館長の鈴木です。確かに本当に困っているところはありませんが、職員でできる限りの修繕はしております。職員の範囲では、どうしようもないものは、中核館を通じて修繕をお願いしているところです。これからもできる範囲で一生懸命やってみようつもりですので、よろしくお願いいたします。

前島委員 草野公民館のボードは、35年ぐらい前に購入したものであり、とても大きく重いんです。現在、市販されているボードは、コンパクトかつ軽量であり、また、安全面も優れています。市の財政が困難であることから、我々も工夫しなければならないのかなと思っています。先程、小中台さんで用意してくれるとか、他の館で手配してくれるとか、心強いお話を聞いたので、次の文化祭では期待しています。よろしくお願いたします。

青柳委員長 それでは、「議題④ その他」に移りたいと思います。事務局から何かありますか。

大平館長 はい、今回限りで、稲毛公民館の藤川委員が退任されます。藤川委員におかれましては、長い期間、この審議会委員をしていただきまして、大変感謝しております。藤川委員から、一言、ご挨拶をいただきたいと存じます。

藤川委員 (あいさつ)

大平館長 続きまして、今回で退任する館長をご紹介します。稲毛公民館の末永館長です。

末永館長 (あいさつ)

大平館長 次に、草野公民館の小川館長です。

小川館長 (あいさつ)

大平館長 次に、都賀公民館の山本館長です。

山本館長 (あいさつ)

大平館長 以上です。

青柳委員長 藤川委員並びに各館長さん、長きにわたり、本当にありがとうございました。それでは事務局にお返しします。よろしく願いいたします。

菊地副館長 以上をもちまして、平成28年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会を終了させていただきます。長時間の慎重なご審議ありがとうございました。

(問い合わせ先) 所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課
電 話：小中台公民館 251-6616